

県感染症情報センター

声なき感染症を知る ◆10◆

ここ数年、「小児用肺炎球菌」「ヒブ(ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型)」「パピローマウイルス」などの新しいワクチンが登場しています。今回は「ロタウイルス胃腸炎」の感染予防に有効なワクチンについて話をします。

▽ロタウイルス感染性胃腸炎とは  
ロタウイルス感染性胃腸炎とは、ロタウイルスを原因として起こる感染症です。大多数の子ども

は冬の後半から春先にかけて、全国で年間約80万人が発症すると推計されています。

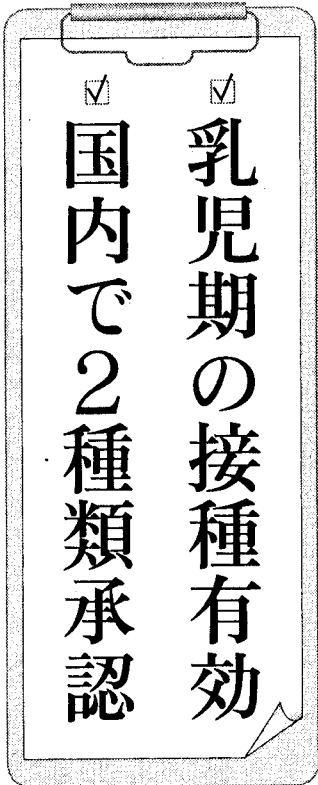
特徴的な症状は、灰色から白っぽい粘土のような色をした水溶性の下痢が数日間続くことです。多くの場合1週間程度で自然治癒しますが、時に重度の脱水のほか、脳炎・脳症などの中中枢神経系の合併症を起こすこともあり、侮ることのできない感染症です。

▽予防のためのワクチ

の2種類です。ウイルス表面には、「感染に重要」なGタンパク質とPタンパク質と呼ばれる突起物があります。Gは11種類、Pは13種類あり、この組み合わせでさまざまなタイプのウイルスが存在します。

世界中で多く検出されるウイルスタイプは、G1P「8」、G2P「4」、G3P「8」、G4P「8」、G9P「8」などがあり、ロタリックスは一番流行しているG1P「8」の1種類のウイルスを弱毒化したもので、4週間隔で2回接種(経口)します。

また、ロタテックは、G1、G2、G3、G4



新しい予防接種 ロタウイルスワクチン

ロタウイルスワクチンの種類と特徴

	ロタリックス	ロタテック
ワクチン組成	G1P[8]	G1、G2、G3、G4、P[8]
接種回数	2回の内服	3回の内服
接種可能期間	生後6週から24週までの間	生後6週から32週までの間
最短接種間隔	前回の接種から中27日	前回の接種から中27日

が、ほぼ5歳までに一度はかかる病気です。生後6カ月から2歳ごろに初感染のピークがあり、一度かかると免疫を獲得するので再感染しても症状は軽くすみずみ。流行季

ン接種

このウイルスは口から入ることで感染します。保育施設などでひとたび患者が出ると、便中には大量のウイルスが含まれており、たとえ十分な手洗いをしても、手や爪

(つめ)にウイルスが残っていることがあり、拡大を抑えることは難しい厄介なウイルスです。ロタウイルスに効く薬は、今のところありません。

そのため、乳児期にワクチン接種を終わらせることが感染予防に有効です。

▽2つのワクチン

わが国で承認されているワクチンは、「ロタリックス」と「ロタテック」

とP「8」の5種類のウイルスを弱毒化したもので、4週間隔で3回の接種を行います。組成に違いはありますが、ほぼ同等の効果が確認されています。

2009年6月、世界保健機関(WHO)はロタウイルスワクチンを子どもの最重要ワクチンの一つに指定し(WHO公式サイト参照)、120カ国を超える国々でワクチンが接種されています。わが国でもロタウイルス感染性胃腸炎が、近い将来、希少な感染症となるかもしれません。

(県感染症情報センター) 第2木曜日掲載